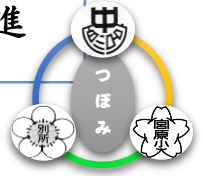


基本的な生活習慣および学力の向上を目指す小・中一貫教育の推進



●宮原中学校区の実践

宮原中学校区（宮原中・宮原小・大宮別所小・つばさ小）の研究テーマを『基本的な生活習慣および学力の向上を目指す小・中一貫教育の推進』と設定し、モデル校として次のような実践を行っている。

生活習慣を定着させるための実践

生活行動目標

- ①大きな声で返事
- ②チャイム着席
- ③くつのかかとをそろえる



学力を向上させるための実践

学力向上をはかるための「学びの土台」づくり

- ①授業の受け方
- ②家庭学習のしかた
- ③生活習慣

①教師間の連携

○相互授業参観

中学校と小学校のそれぞれで実施し、相互に授業を参観することで、学力向上のための実践についての共通理解を図る



○合同研修会

2回の合同研修会を通して、H28年度は学力向上をはかるための家庭学習の仕方について重点をおき、指導の工夫・改善を行った。

学力向上

<学びの土台>

授業の受け方

- ・話が聞ける
- ・自分の意見を伝える
- ・ノートがとれる

家庭学習の仕方

- ・予習・復習ができる
- ・計画的に学習できる
- ・宿題ができる

生活習慣

- ・早寝・早起き
- ・朝ごはん(食事)
- ・名前を呼ばれたら返事
- ・チャイム着席
- ・くつのかかとをそろえる

②学校行事等を通しての交流

体育祭

小学校 6 年生が中学校の体育祭に参加し、小・中合同種目『みやはら春のパン祭り』を実施。



小・中合同あいさつ運動

中学校生徒会役員・生活委員の生徒が出身小学校に行き、児童会役員・小学校代表委員とともに模範となる態度であいさつ運動を行っている。

保健・安全フェスタ

子どもが生涯にわたり、健康で安全に生きることを目的として、小学生・中学生および保護者も含め、地域の安全度を高めるための体験重視型の講座を開設。



③授業を通しての交流



つぼみの日

小学 1～5 年生

- ・中学 3 年生が出身小学校へ訪問し、アシスタントティーチャーを務めた

小学 6 年生

- ・授業体験（全教科で実施）
- ・部活動体験（全部活動で実施）

④小・中・高の連携

